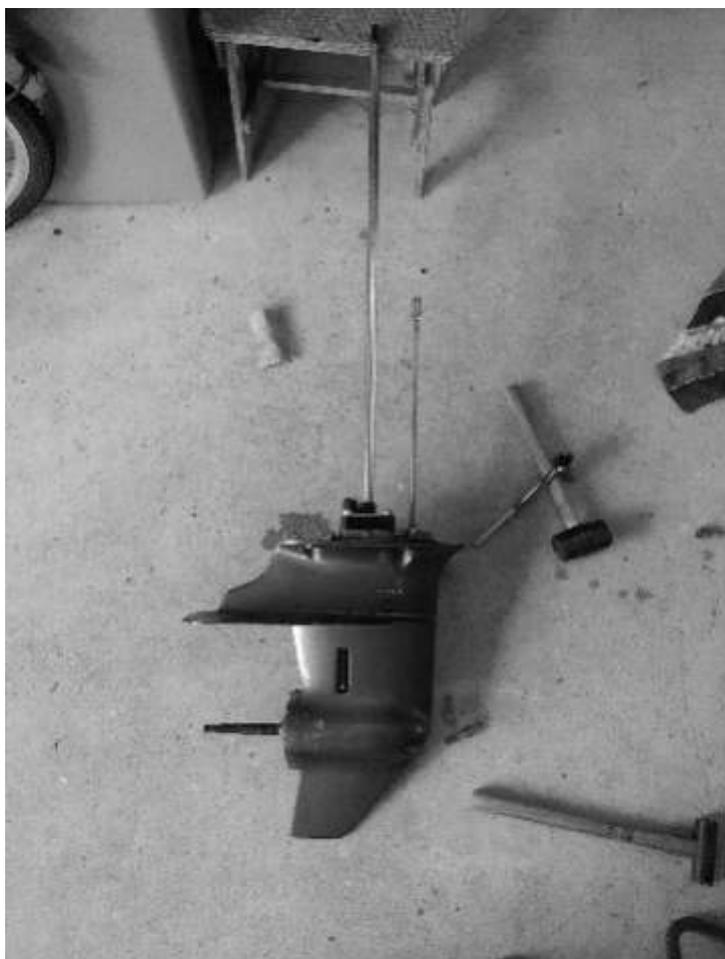


## YAMAHA 船外機 (9.9FMH) のインペラ交換

H28. 6. 30

### ○ロワケースの取り外し



3年前に漁師にもらった廃棄寸前の 9.9 馬力 2 サイクル船外機である。

キャブを分解洗浄し、エンジンはかかるようにはなったが、冷却水が検水口から出ないのでインペラの状態を点検することにした。

クラッチアームの長短ナット 2 本を分離し、ロワケースのネジ 4 本をはずせばウォーターパイプが勝手に抜けてロワケースがはずれる。

クラッチアームの長ナットが錆びて固着していてゆるめるのに苦労した。

### ○インペラケースの開放



予想通りインペラの羽はすべて無くなっていた。

ちぎれたゴムを噛んだせいでアルミの台座もゆがんでいる。

## ○インペラ交換



台座がゆがんでいたのでクラッチアーム側のネジ2本もはずして裏からプラスチックハンマーでたたいて平らに矯正した。さらにインペラが回転接触する面をペーパーできれいにみがいてグリスを塗った。

インペラの空転防止ピンも錆びて固着していたので金槌でコンコンとたたいてはずしてみがいた。(ちなみにこのピンをはずさなければ台座がドライブシャフトから抜けない。)



新しいインペラの装着。

ドライブシャフトも途中錆びているので新しいインペラがスムーズに通るようにペーパーでみがいてグリスを塗った。

インペラは新品をネットで取り寄せた。送料込みで2,506円也。

○最後に検水テスト



どのネジも塩かみが激しいのでワイヤブラシで磨いてグリスを塗って再度組み立てた。

キャブの分解清掃によりエンジンは一発始動。

検水口からは勢いよく水がとびだしインペラ交換完了。

ついでにギヤオイルも交換して廃棄寸前の 9.9 馬力が復活した。

ただし、マイボートは5馬力なのでこの船外機の使用機会は今のところ無い。キャブ内の混合油を抜いてとりあえず納屋の奥に待機。

<参考>

- ・船外機 YAMAHA 9.9FMH 682C SU 850236 (年式 2004)
- ・インペラ 品番 63V443520100 ¥1,750
- ・スタンドはトランサム高UL用に自作。